調乳用温水器CH22シリーズ
施工説明書

※CH22-2（CH22-1 の浄水器あり）
※CH22-4（温水器左・シンク右配置）

この度はコンビ調乳用温水器 CH22 シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この商品はさまざまなお子さま連れのかたがご利用になりますので、皆様が快適にご利用いただくためには、お施主さまの安全管理が大切です。
以下の内容にしたがって正しく施工管理してくださるようお願いいたします。

コンビウィズ株式会社

149886210 1503(3)

目 次

■ 調乳用温水器 CH22 シリーズ　施工説明書

調乳用温水器CH22シリーズ
施工説明書

本施工説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は大切に保管してください。

1 安全に施工していただくために

●ここに示した注意事項は、施工方法、及び取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

⚠警 告	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

この絵表示は、行為を強制したり指示する内容です。

2 施工者のかたへのお願い

⚠警 告	● 製品を改造しないでください。 事故につながるおそれがあります。
	●本体が倒れて思わぬ事故につながりますので、下記の事項をお守りください。 ・転倒防止のため、床・壁等に確実に固定し、強い力を加えたり、寄りかかったりしないでください。 ・本体上部を手前や横に強く引っぱったり倒したりしないでください。 ・扉部分(専用台、専用扉とも)に強い力をかけたり、衝撃を与えたりしないでください。 ・設置後や地震発生後は固定部のゆるみがないか確認してください。

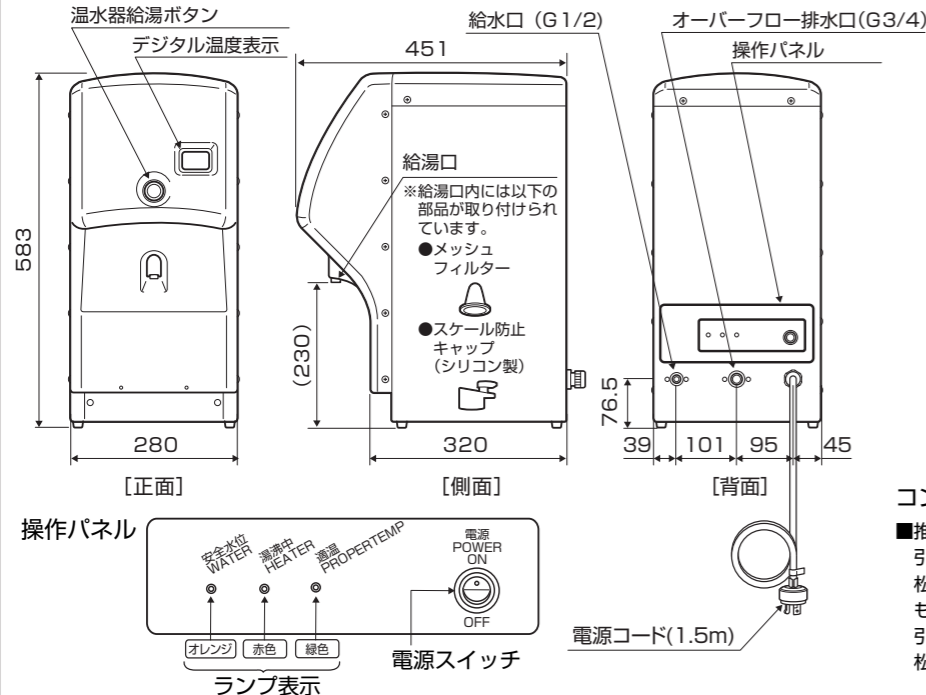
⚠警告

●電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手では行わないでください。感電するおそれがあります。また、コードを引っぱると断線するおそれがあります。
●水漏れ事故はお客さまだけでなく近隣にも多大な迷惑、損害を与えます。水漏れなどがないか接続部や浄水器の日常点検・確認をしてください。
●トレイ、水切りフタは必ず正しく設置した状態にてお使いください。守らないと水が排水口に流れず水漏れします。
●本製品は、単相100V仕様です。
100Vの機器を200Vに接続すると、電気部品が破壊されます。
●次の作動条件でご使用ください。
1)上水道
健康を害したり機器を損傷するおそれがあります。水道法の水質基準に適合した上水道をお使いください。
2)給水温度5～40℃（凍結しないこと）
浄水器や湯槽の破裂や部品の破損による事故が発生します。

⚠注 意

●給湯口のキャップは耐熱樹脂製です。スケール防止キャップのため、はずさずに着けたままでお使いください。消耗品ですので交換の場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。
●給水圧力0.1Mpa～0.5Mpa給水圧力が0.5Mpaを超える場合は、必ず減圧弁をつけてください。守らないと水漏れの原因になります。
●２系統排水
背面、前面の２系統の排水口があり、それぞれ排水方法が異なりますのでご注意願います。
①前面トレイへの排水
S字トラップを通し、下水へ直接排水してください。下水管との接続には、臭気漏れや水蒸気が漏れないよう密閉してください。
②温水器の背面からの排水(間接排水)
オーバーフロー排水口です。上記抜き管を兼ねています。衛生管理上、決して下水へ直接排水せず、間接排水としてください。排水配管中にはバルブなどを設けず、下り勾配で先端を大気に開放してください。CH22-3/CH22-4は付属の専用配管をご使用ください。
●電源電圧変動基準値の±10%以内
●周辺機器とは別系統の漏電ブレーカー（感度電流30mA以下、動作時間0.1秒）を電源一次側に必ず取り付けてください。取り付けないと、故障や漏電のときに元ブレーカーが落ち、他の周辺機器が同時に停電します。
●アースは確実に取り付けてください。取り付けないと、故障や漏電のときに元ブレーカーが落ち、他の周辺機器が同時に停電します。
●アースは確実に取り付けてください。漏電のときに感電するおそれがあります。
●本製品は、屋内用製品になります。屋外に設置しないでください。
●湿度10～60%（結露しないこと）
浴室などの湿気の多い場所に設置しないでください。木部が腐って強度が保てなくなります。
●周囲温度5～40℃（凍結しないこと)の環境下で使用してください。
●直射日光を避けてください。
●本体背面排水口(オーバーフロー排水口）はフレキ管などを利用して排水処理を行ってください。排水は配管中にバルブなどを設けないで下り勾配にてシンクやバケツにとってください。背面排水口は蒸気排気口を兼ねていますが、配管接続部分の温度は通常35℃前後であり、やけどの心配はありません。
●間接排水口は必ず開放にし、ふさがないでください。トラップや排水ホッパーなども適合しませんので取り付けないでください。湯槽内が負圧になり正しく運転しなくなります。温水器の上から湯気が出て壁や天井に影響を及ぼすことがあります。また、異常時にオーバーフローした際、水漏れするおそれがあります。
●背面排水のフレキ管先端は、切りっぱなしにせず、必ずナットやエルボ金具を取り付けてください。ケガの原因になります。(CH22-3/CH22-4をのぞく)
●使用頻度に関わらず、継続使用中に電源を切らないでください。長期間電源が切れた場合、再度ご利用になられるときは必ず湯槽内部･ストレーナを清掃するメンテナンスを行ってください。これらの作業が必要な場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。
●専用台の扉を90°以上開けないでください。蝶番が破損します。なお、設置作業などの際、専用台の扉は蝶番からワンタッチで取りはずすことができます。
●専用台の扉には鍵が付いていますので、管理責任者のかたに必ずお渡しください。
●冬季など低水温時に頻繁に使用された場合は適温まで沸かし上げるのに時間がかかることがあります。
●長期間お使いにならない時には、湯槽内の湯水を排水し、中を空にし、止水栓を閉じてください。再度ご利用になられるときは必ず湯槽内や電装部のチェックや、浄水器カートリッジの交換を行ってください。これらの作業が必要な場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。
●断水時には、運転しないでください。断水後の運転は水がにごることがあります。湯槽内の水を入れ替えてください。

3 各部のなまえ

■温水器本体・各部の名称（全機種共通）

単相 100V 仕様

温水器機能の特色

1）前面のデジタル表示と背面のランプ表示により作動状況を表示。
2）温度と水位を独自のステップボイル方式でコントロールして常に適温を保ちます。
3）背面の電源スイッチを押すだけで運転開始。
4）前面の給湯ボタンを押してる間だけ出湯します。
5）空焚・過昇温検出機能など安全装置を装備。

コンセント差込口

■推奨部品メーカ・品番
引掛露出コンセント
松下電工：WK2520（B／W）
もしくは
引掛埋込コンセント
松下電工：WF2520（B／W）

解除　ロック

■付属扉、金具類（全機種共通）

調乳カバーセット固定用ネジ M6×20（2 本）

前面下カバー固定用ネジ φ4×8

耐震金具用ビス φ5×16 トラスタッピングネジ（4 本）

キー（シリンダー錠用：2 本）

施工説明書（本書）取扱説明書・点検マニュアル（1 部）

■付属品（機種別）

■全てに付属（床固定金具）

L 字金具（4 個）
トラスネジ M8×25（4 本）
平ワッシャーφ22M8 用（4 枚）

■CH22-1 のみ付属（連結固定金具）

六角ボルト M8×60（4 本）
平ワッシャーφ22M8 用（8 枚）
スプリングワッシャー M8 用（4 枚）
ナット M8（4 個）

■CH22-1/2 のみ付属（壁固定金具）

トラスタッピングネジφ4×50（4 本）

■CH22-2/3/4 のみ付属（浄水器セット一式）

浄水用フレキ管 L=1000（1 個）
浄水器用六角ナット・ワッシャー（各 1 個）
浄水器用固定ネジ（8 本）

浄水器本体（1 個）　浄水器本体支持具（2 個）　浄水器 L 字金具（1 個）

※CH22-1 は当社製品浄水器・温水器付シンクに横付け設置するものです。単体、浄水器なしでの設置はしないでください。

■付属専用台※と専用部品（機種別）

■CH22-1/2

本体、天板；低圧メラミン化粧繊維板
扉、前板類；ＭＤＦ化粧ＰＥＴシート貼

■CH22-3/4

上図は CH22-3（CH22-4 は左右勝手違い）

本体；低圧メラミン化粧繊維板
扉、天板；高圧メラミン化粧板ポストフォーム仕上

オーバーフロー用間接排水金具（1 式）
単水栓金具（1 式）
異径ジョイント（1 個）
エルボ（1 個）
フレキ管 L=1000（1 個）
フレキ管 L=700（2 個）

※専用台には前面排水口（三栄水栓 PH-31-25、呼び径 25）、シリンダー錠が共通で付属

4 工事説明

■器具の取り付け

付属の専用台に固定し、水平に設置してください。
専用台の設置には、充分な転倒防止対策を施してください。
P.2およびP.3の安全上のご注意を必ず守ってください。

■配管工事

注意

- ●工事にあたってはすべての配管は温水器からいつでも着脱できるよう接続してください。
- ●給水圧が高い（0.5Mpaを超える）場合は、必ず減圧弁をつけてください。
- ●本体正面排水は付属の排水口にトラップ・配管当を接続して直接排水処理を行ってください。
- ●本体背面排水口（オーバーフロー排水口）はフレキ管などを利用して排水処理を行ってください。排水は配管注にバルブなどを設けないで下り勾配にてシンクやバケツにとってください。背面排水口は蒸気排水口を兼ねていますが、配管接続部分の温度は通常35℃前後であり、やけどの心配はありません。
- ●給水管に30cm以上フレキ管を使用する場合は、必ず壁などに固定してください。固定しないと「ウォーターハンマー現象」による配管の振動が起きる場合があり、繰り返し振動することで配管が傷み、水漏れの原因になります。
- ●異種金属の配管接続をする場合は、電食防止を施してください。

背面排水口（オーバーフロー排水口）G３/４

背面排水

浄水器より給水

給水口：G１/２

電源コード：1.5m

■電気工事

電源コードの長さは1.5mです。この範囲内にコンセント（右図）を設けてください。

コンセント側形状

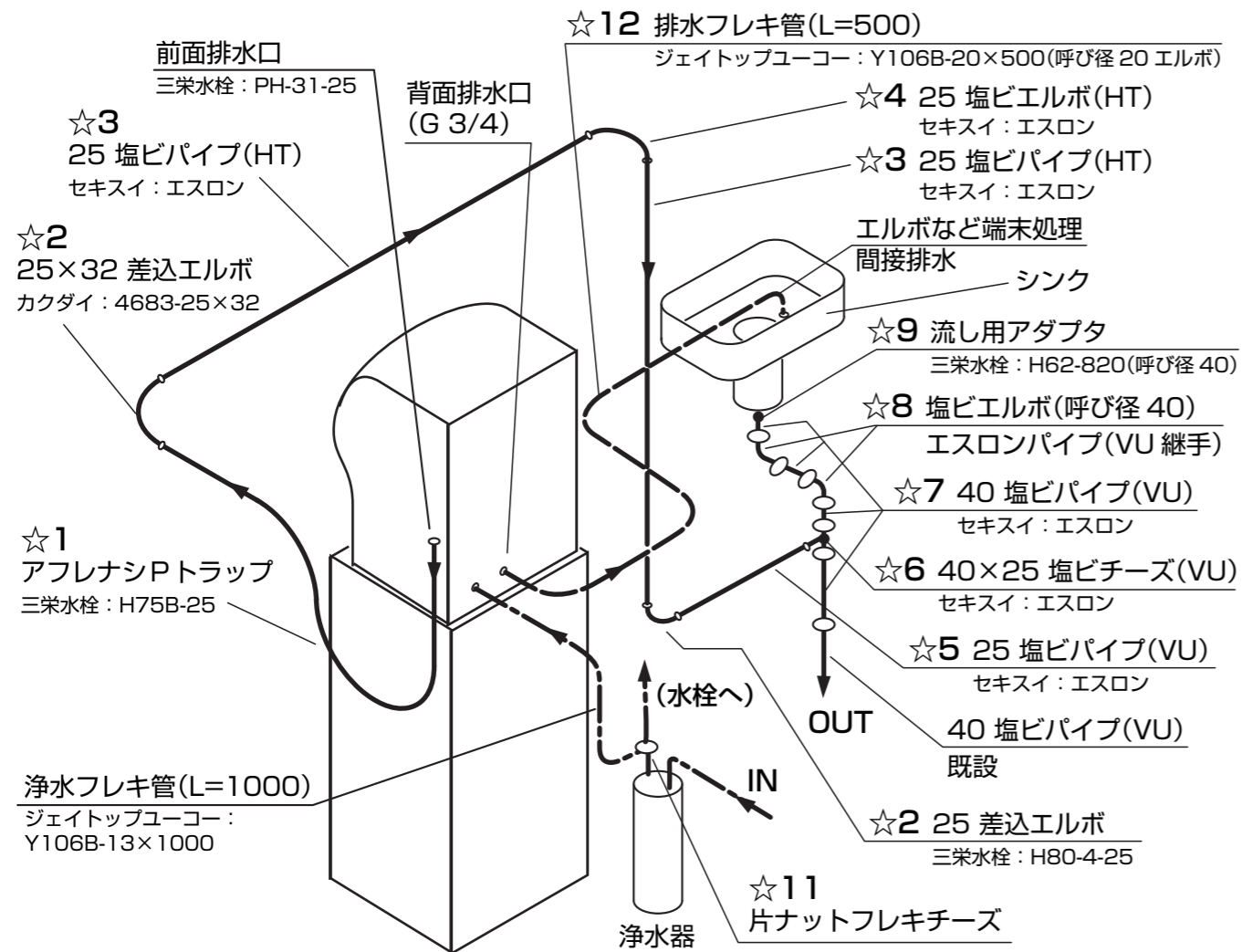
単相100V 1.5kW
接地2Ｐ

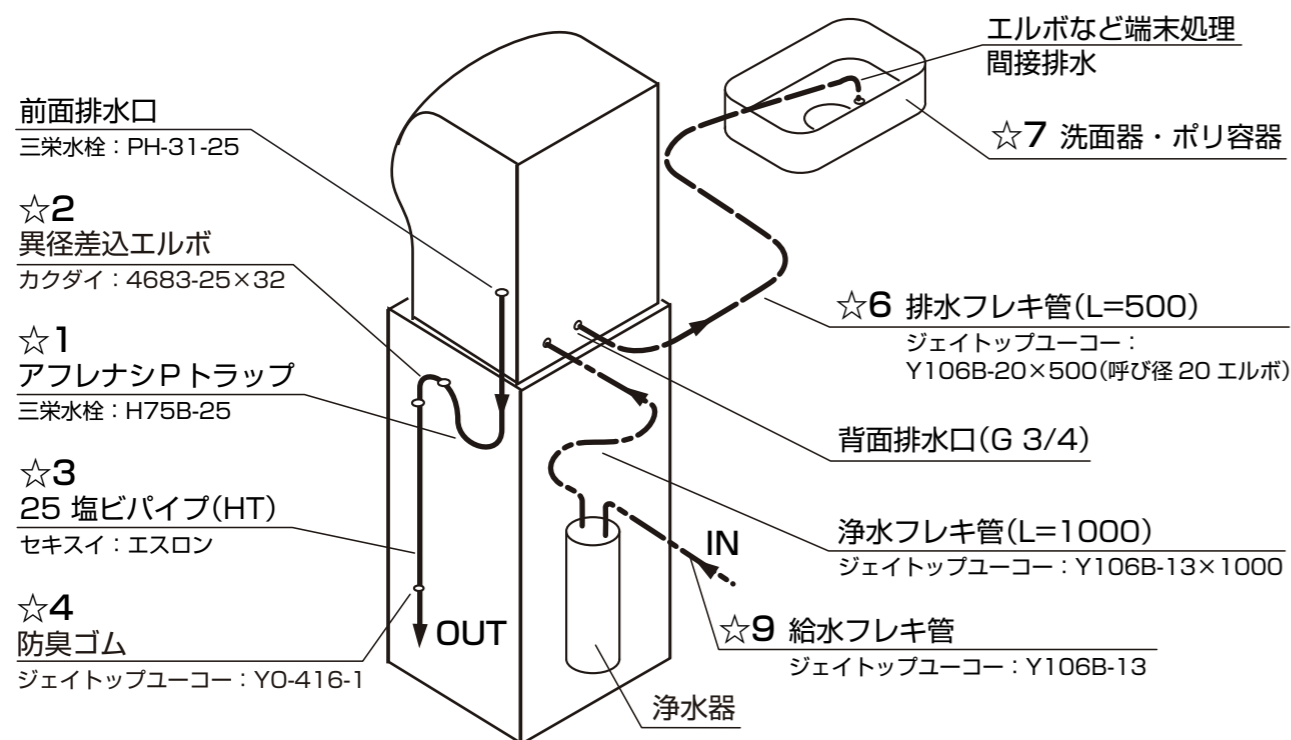
推奨部品メーカー・型番
（定格は 250V 20A ですが、100V で使用します）
引掛露出コンセント
松下電工：ＷＫ2520(B/W)
もしくは
引掛埋込コンセント
松下電工：ＷＦ2520(B/W)

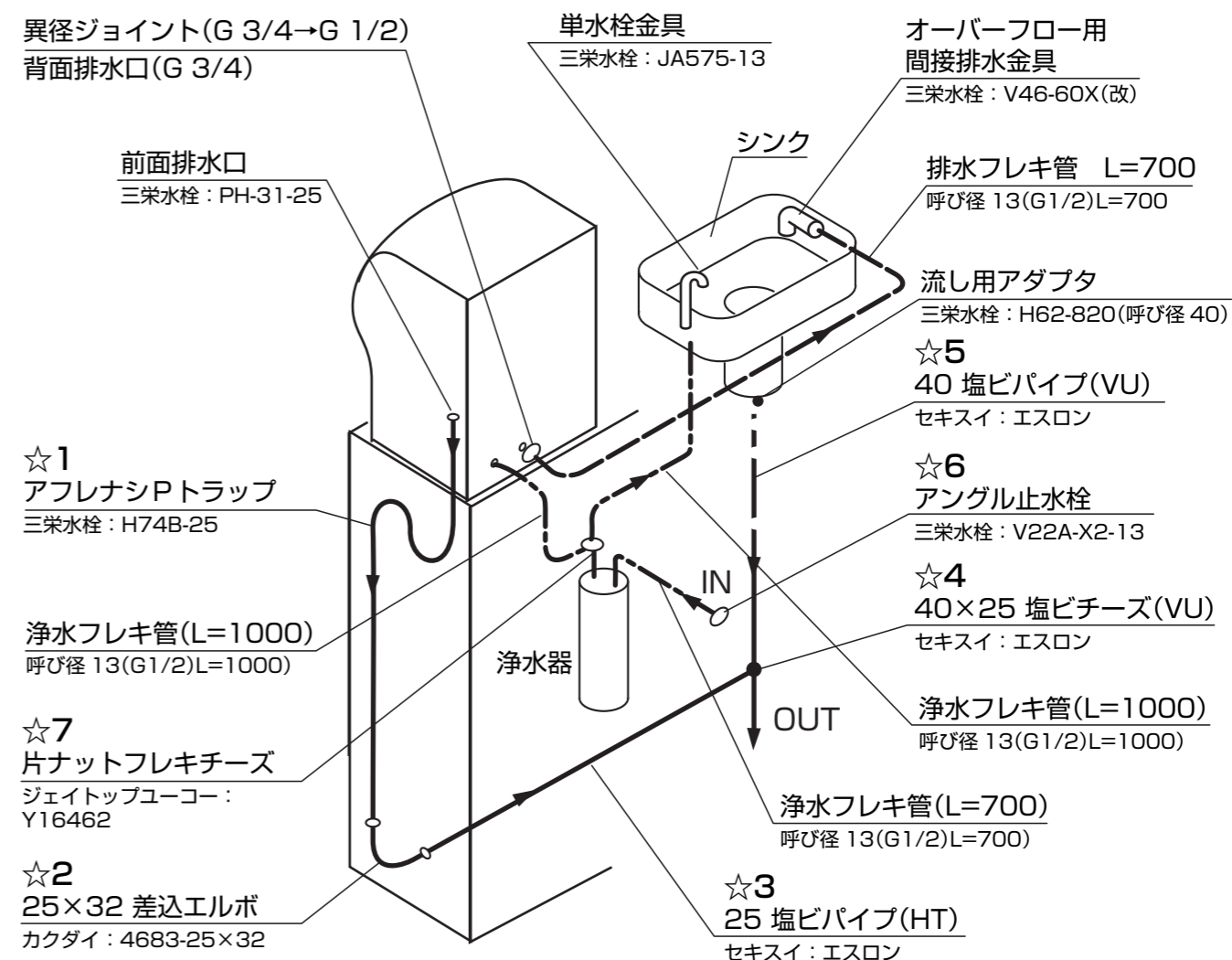
工事終了後、下記の事項を必ずご確認ください。（デジタル表示・ランプ表示についてはP16を参照してください）

Check	確認項目	内容
□	1.供給電圧の確認	規定電圧（100V）の±10%以内でご使用ください。 過電圧の場合、ヒーターの寿命が著しく短くなり、電子部品が破損する場合があります。 低電圧の場合、機器が運転できなくなります。 メモ：電圧の測定はテスターでコンセントに通電している電圧を測ってください。測定後、コンセントにプラグをしっかり差し込んでください。 注意　アース付きコンセントですので、接地極に電圧はかかりません。
□	2.通水の確認	止水栓を開き湯槽内に給水してください。この時、給湯ボタンを押して通水し、配管内に１度水を流してください。もし、湯槽内に沈殿物などがある場合には、湯槽内に立ち上がっているオーバーフロー管をはずして排水し、沈殿物を取り除く必要があります。オーバーフロー管は左にねじればはずれます。
□	3.メッシュフィルターの詰まりの確認	メッシュフィルター（給水口内のアミ）にゴミが詰まっていないか確認してください。
□	4.捨て水の確認	温水器及び水栓の十分な捨て水をして、水または湯にゴミが混じっていないか確認してください。
□	5.取り付け状態の確認	取り付け状態を確認してください。
□	6.配管及び接続部の確認	各配管及び接続部を確認し、漏水などがないか確認してくさい。 プラグはコンセントにしっかり差し込んでください。
□	7.給湯の確認	沸き上がり後、給湯ボタンを押して適正に出湯されるか確認してください。

CH22-1（浄水器なし、シンク横付増設用）

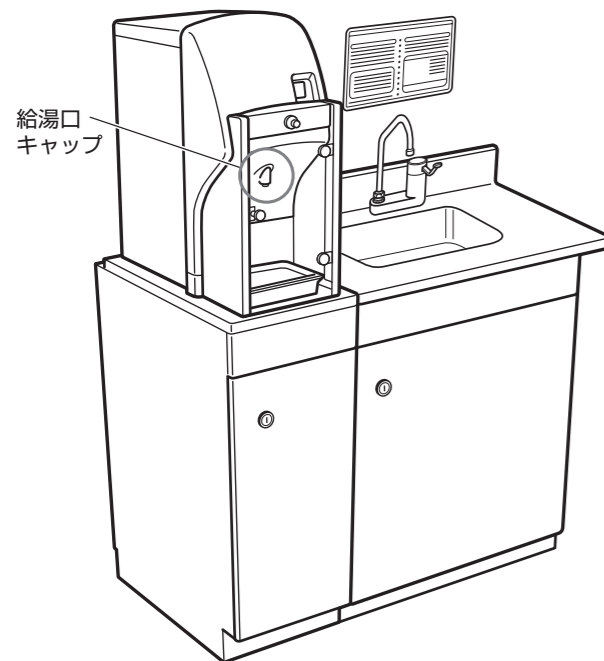
☆印はお客様手配部品です（付属部品ではありません）

CH22-2（浄水器付き、単独設置用）

☆印はお客様手配部品です（付属部品ではありません）

CH22-3/CH22-4（浄水器付き、単独設置用）

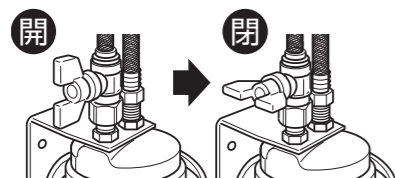
☆印はお客様手配部品です（付属部品ではありません）

図はCH22-3,CH22-4は専用台がCH22-3の左右勝手違いとなり、シンクと温水器の位置が逆になります。
使用する配管類は同一です。

5 「CH22-1」設置手順

CH22-1 と浄水器・温水器付シンク接続完成図

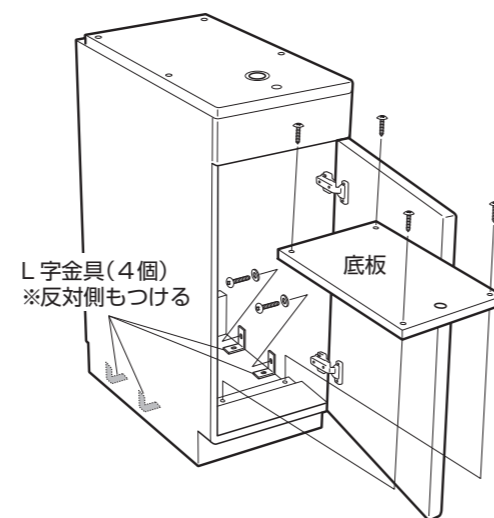
この説明書では浄水器・温水器付シンクの向かって左に設置の場合の図のみ掲載していますが、向かって右に設置することも同様に可能です。

給湯口のキャップは耐熱樹脂製です。スケール防止のためはずさずに付けたままでお使いください。

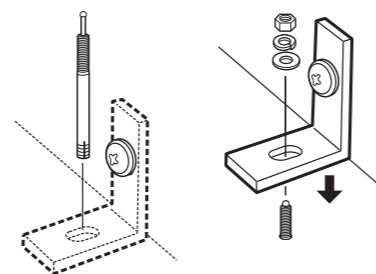
1 止水栓を閉める。

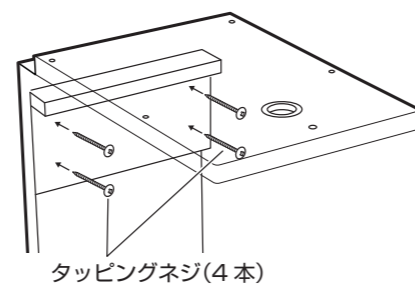
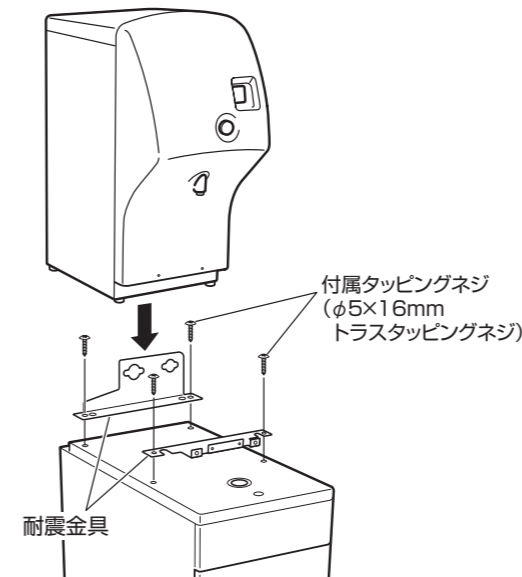
配管に対しツマミを垂直にします。給水側にさらに止水栓がある場合は、それも閉めます。

2 混合栓のレバーを操作して『開』(水が出る方向)にする。

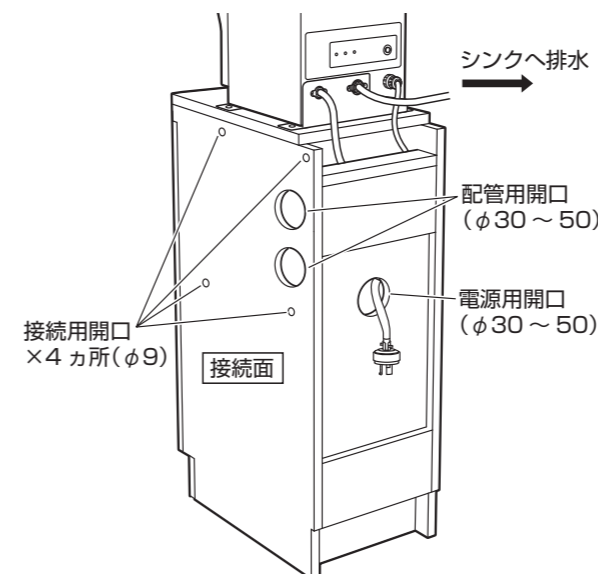
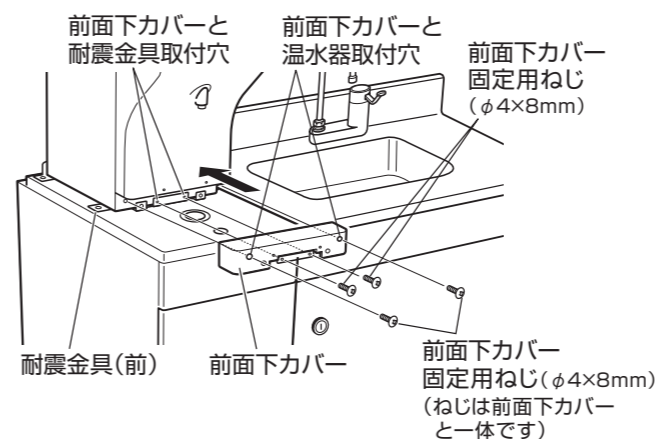
このとき水が出なくなったことを確認してください。確認後、レバーを操作して「閉」(水の出ない方向)にしてください。

3 専用台の底板(ビス4本で固定)を一旦はずし、付属のL字金具を台の内側既設のナットへ固定する。

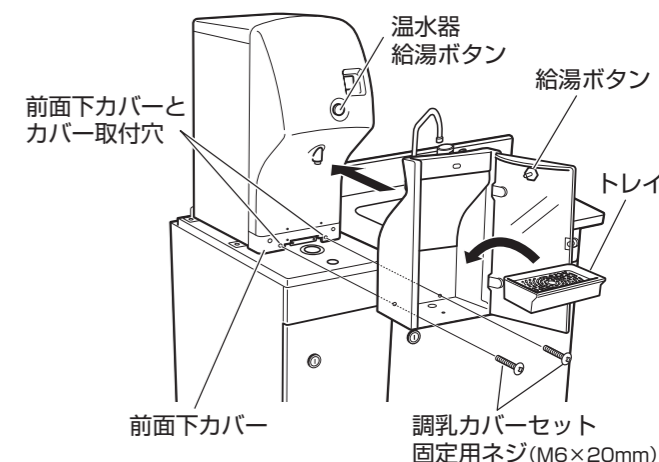
固定には、付属のトラスネジ8×25と平ワッシャー M8×φ22(4セット)を使用します。

4 あらかじめL字金具の穴位置をけがいておき、アンカーなどを打ち込む。

その上にL字金具をかぶせ、床へ固定し、底板を元に戻します。

5 背面の壁と固定する。

キャビネットの板厚上部任意の箇所に付属のタッピングネジφ4×50(4本)を貫通させて背面の壁と固定します。

6 耐震金具を図のように固定し、温水器を載せる。

7 ホールソー、ドリルなどで接続面に適宜必要な開口を設ける。

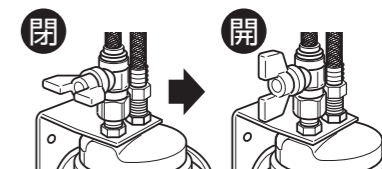
シンクの側板にも同じ位置に開口が必要です。

8 前面下カバーを付属の前面下カバー固定ネジ(4本)で取り付ける。

外側のネジ(2本)は、温水器取付穴に固定し、内側のネジ(2本)は耐震金具取付穴に固定します。

9 調乳カバーセットを付属の調乳カバーセット固定ネジ(2本)で取り付ける。

前面下カバーの取付穴に固定します。
アクリル扉を閉めてから、給湯ボタンの先端が温水器給湯ボタンを確実に押せるか、ご確認ください。

トレイは調乳カバーセット下部の穴にしっかりと差し込んでください。

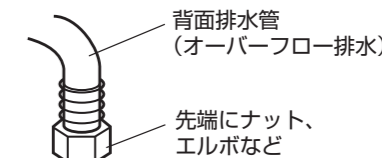
10 上下配管を接続する。巻末資料の標準施工図(CH22-1)をご参照ください。

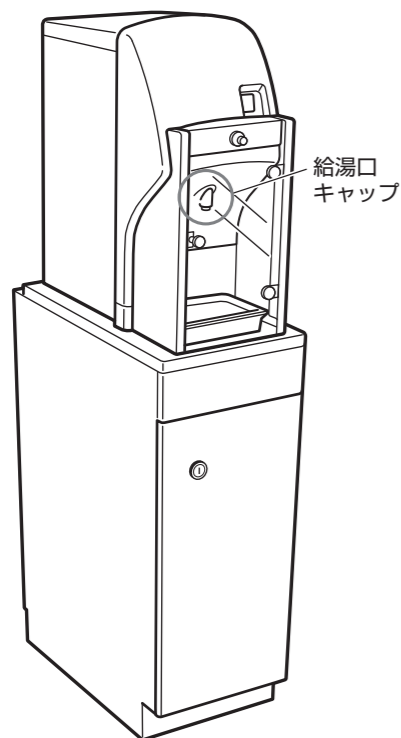
注意:施工時に異物が混入しないように十分注意してください。

11 止水栓をゆっくりと開ける。

12 混合栓のレバーを「開」に操作し、正しく動作するか確認する。

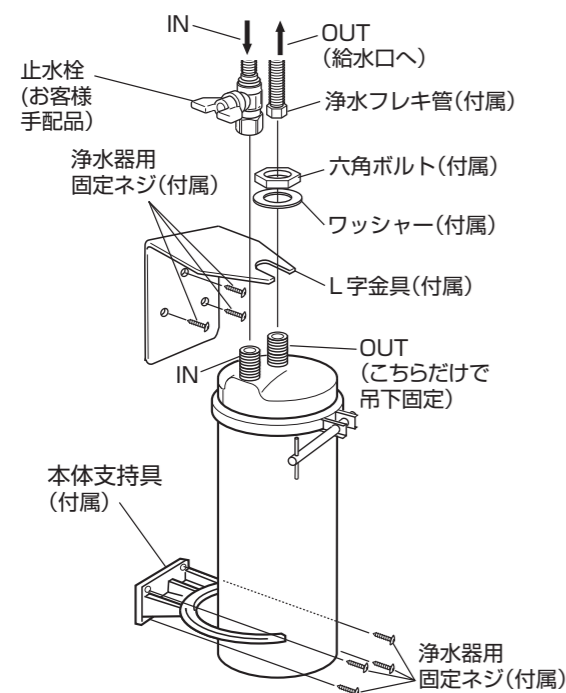
最後に水を止めて、浄水器やその他の配管に水漏れがないか、3分間または10リットル以上の水を流し、確認してください。

13 ナット、エルボなどを取り付ける。

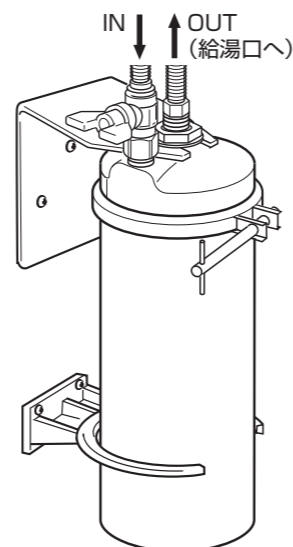
背面排水(オーバーフロー排水)管の先端には必ずナット、エルボなどを取り付けて、フレキ管先端が手に触れないようにしてください。最後に水漏れがないことを確認してください。

6 「CH22-2」設置手順

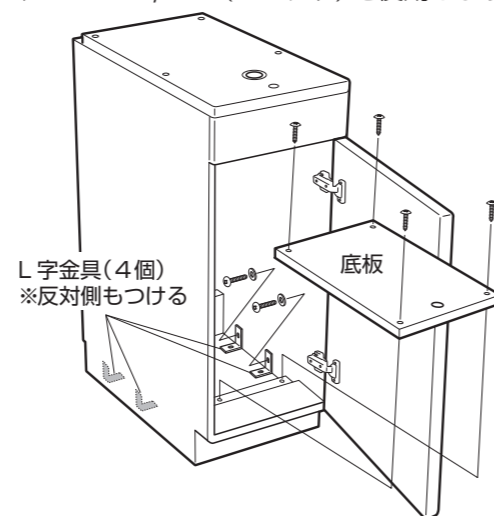
CH22-2接続完成図

給湯口のキャップは耐熱樹脂製です。スケール防止のため、はずさずに付けたままでお使いください。

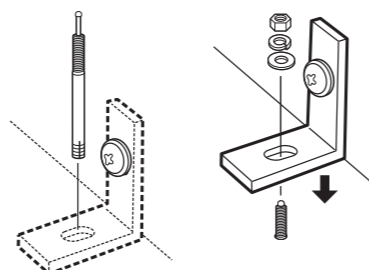
1 浄水器を図のように取り付ける。

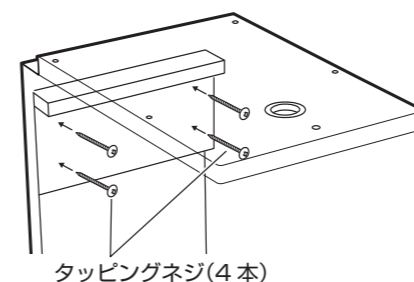
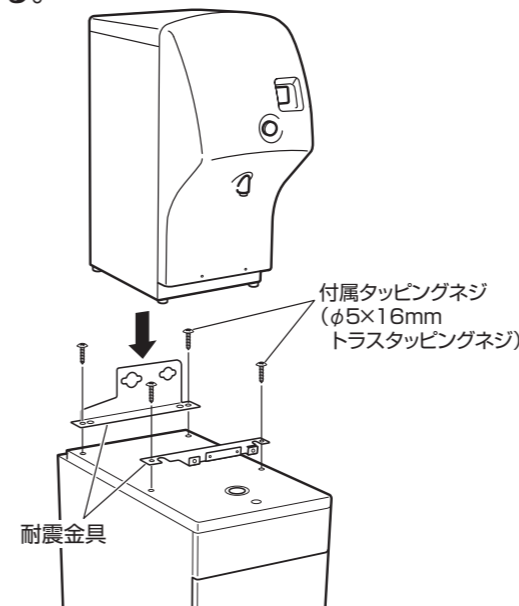
交換時は必ずハウジングキャップ（浄水器の上フタ）を持ち、IN、OUTの口に無理な力がかからないようにしてください。浄水機はラベルが見やすい方向に向けてください。

2 浄水器取付図

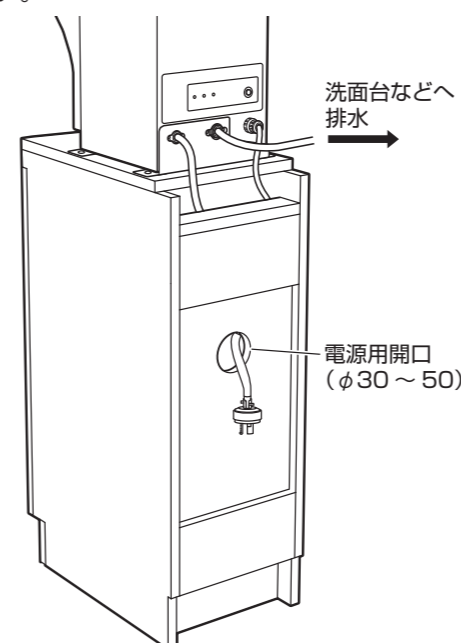
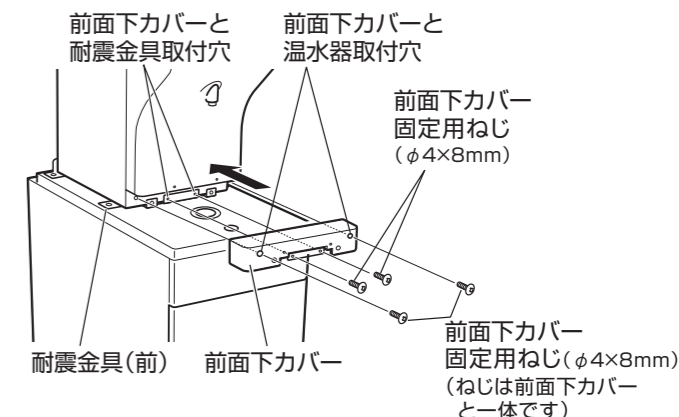
- 止水栓は付属しておりません。
- 本体支持具１個と、浄水器用固定ネジ１本は本製品では使用しません。予備として保管ください。

IN、OUTを間違えていないか、よく確認してください。30cm以上のフレキ管は壁などに固定してください。

3 専用台の底板を一旦はずし、付属のL字金具をナットへ固定する。

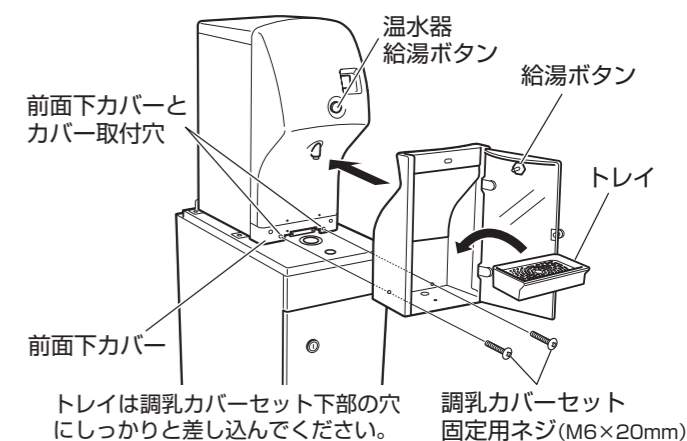
専用台の底板（ビス４本で固定）を一旦はずし、付属のL字金具を台の内側既設のナットへ固定します。
固定には、付属のトラスネジ8×25と平ワッシャー M8×φ22（4セット）を使用します。

4 あらかじめL字金具の穴位置をけがいておき、アンカーなどを打ち込む。

その上にL字金具をかぶせ、床へ固定し、底板を元に戻します。

5 背面の壁と固定する。

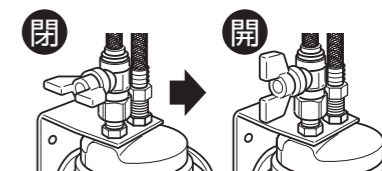
キャビネットの板厚上部任意の箇所に付属のタッピングネジφ4×50（4本）を貫通させて背面の壁と固定します。

6 耐震金具を図のように固定し、温水器を載せる。

7 ホールソー、ドリルなどで接続面に適宜必要な開口を設ける。

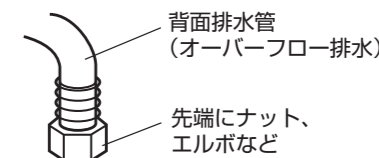
配管を専用台に貫通させる場合は、ホールソー、ドリルなどで接続面に適宜必要な開口を設けてください。

8 前面下カバーを付属の前面下カバー固定ネジ（4本）で取り付ける。

外側のネジ（2本）は、温水器取付穴に固定し、内側のネジ（2本）は耐震金具取付穴に固定します。

9 調乳カバーセットを付属の調乳カバーセット固定ネジ（2本）で取り付ける。

前面下カバーの取付穴に固定します。
アクリル扉を閉めてから、給湯ボタンの先端が温水器給湯ボタンを確実に押せるか、ご確認ください。

10 上下配管を接続する。巻末資料の標準施工図（CH22-2）をご参照ください。

注意： 施工時に異物が混入しないように十分注意してください。

11 止水栓をゆっくりと開ける。

12 ナット、エルボなどを取り付ける。

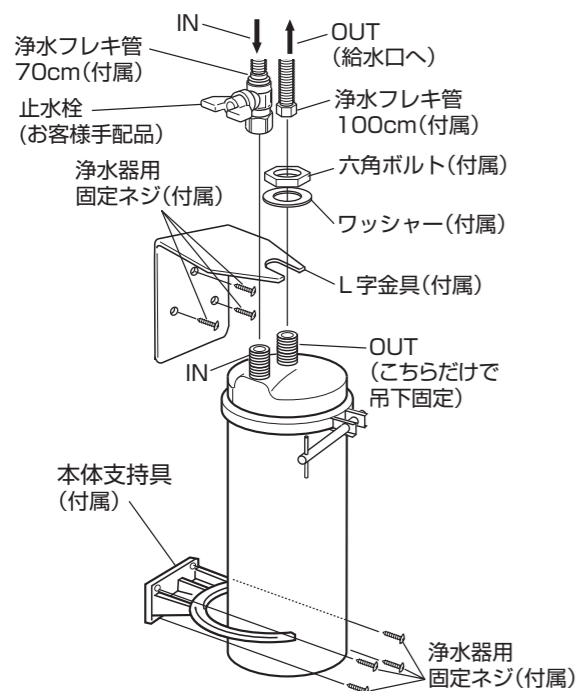
背面排水（オーバーフロー排水）管の先端には必ずナット、エルボなどを取り付けて、フレキ管先端が手に触れないようにしてください。最後に水漏れがないことを確認してください。

7 「CH22-3／4」設置手順

CH22-3／4接続完成図

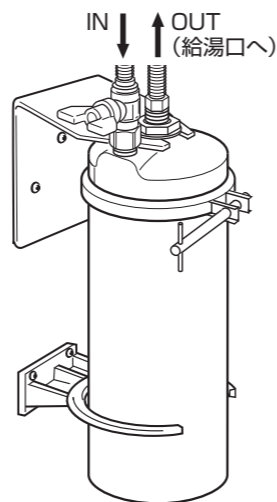
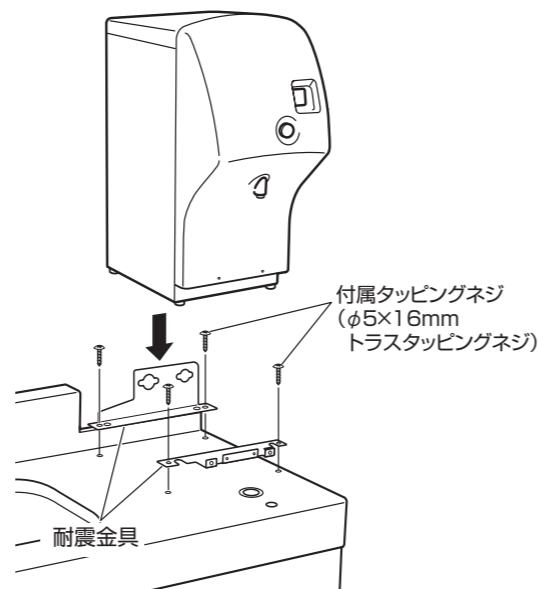
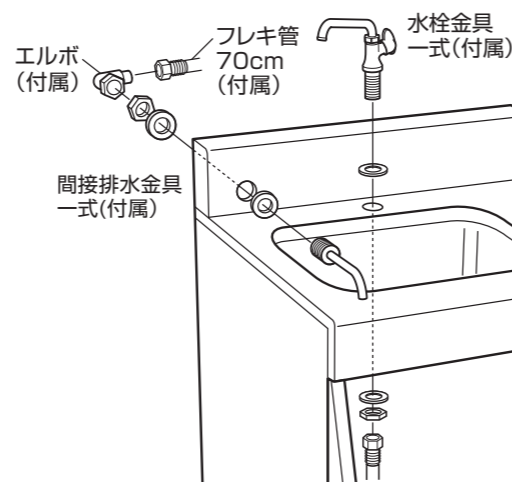
図はCH22-3です。CH22-4は専用台がCH22-3の左右勝手違いとなりシンクと温水器の位置が逆になります。

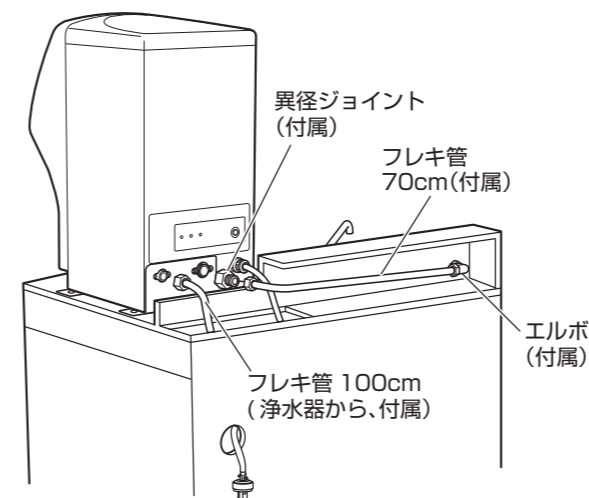
給湯口のキャップは耐熱樹脂製です。スケール防止のためはずさずに付けたままでお使いください。

1 浄水器を図のように取り付ける。

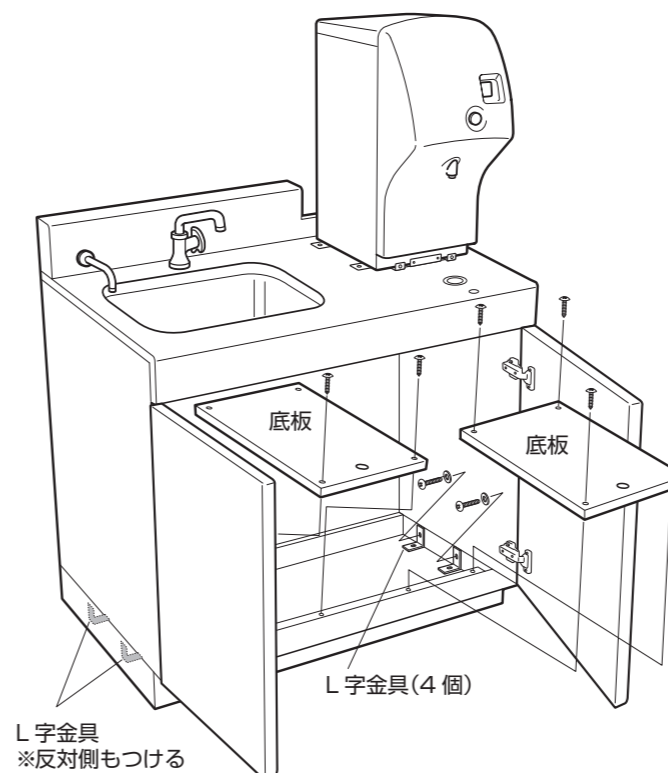
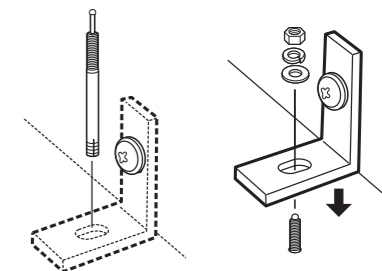
交換時は必ずハウジングキャップ（浄水器の上フタ）を持ち、IN、OUTの口に無理な力がかからないようにしてください。浄水機はラベルが見やすい方向に向けてください。

2 浄水器取付図

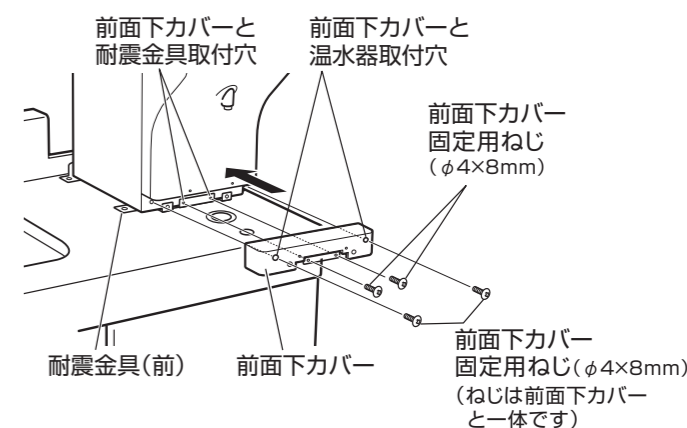
- 止水栓は付属しておりません。
- 本体支持具1個と、浄水器用固定ネジ1本は 本製品では使用しません。予備として保管ください。
- 水栓から浄水を分岐する場合はOUT側に片ナットフレキチーズを付けてください。(片ナットフレキチーズは付属しておりません。)

IN、OUTを間違えていないか、よく確認してください。30cm以上のフレキ管は壁などに固定してください。

3 耐震金具を図のように固定し、温水器を載せる。

4 付属の水栓金具、間接排水金具を図のように接続する。

5 付属の異径ジョイント、フレキ管を図のように接続する。

配管や配線を専用台に貫通させる場合はホールソー、ドリルなどで適宜必要な開口を設けてください。

6 専用台の底板を一旦はずし、付属のL字金具をナットへ固定する。

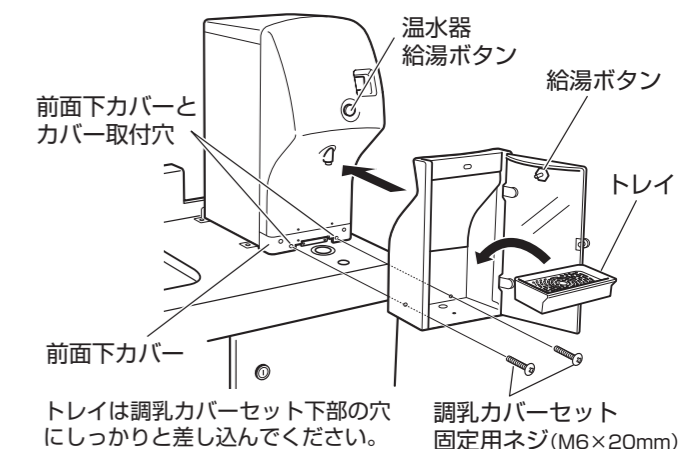
専用台の底板（ビス4本で固定）を一旦はずし、付属のL字金具を台の内側既設のナットへ固定します。

固定には、付属のトラスネジ8×25と平ワッシャー M8×φ22（4セット）を使用します。

7 あらかじめL字金具の穴位置をけがいておき、アンカーなどを打ち込む。

その上にL字金具をかぶせ、床へ固定し、底板を元に戻します。

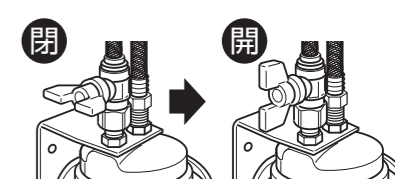
8 前面下カバーを付属の前面下カバー固定ネジ（4本）で取り付ける。

外側のネジ（2本）は、温水器取付穴に固定し、内側のネジ（2本）は耐震金具取付穴に固定します。

9 調乳カバーセットを付属の調乳カバーセット固定ネジ（2本）で取り付ける。

前面下カバーの取付穴に固定します。

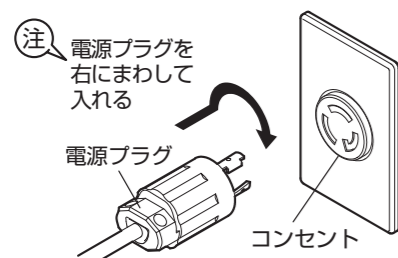
アクリル扉を閉めてから、給湯ボタンの先端が温水器給湯ボタンを確実に押せるか、ご確認ください。

10 上下配管を接続する。巻末資料の標準施工図（CH-22-3/4）をご参照ください。

注意：施工時に異物が混入しないように十分注意してください。

11 止水栓をゆっくりと開ける。

8 ご使用方法

ご使用準備

1 止水栓を開ける。

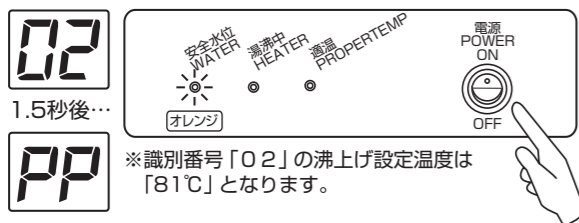
2 電源を入れる。

警告
ブレーカーは確実に押し上げてください。プラグもコンセントに確実に差し込んでください。
※火災のおそれがあります。また、水で濡れた手で操作すると感電するおそれがあります。

3 電源スイッチを入れる。

※ランプ表示（背面）の⁘は点滅、⁘は点灯を示しています。

電源スイッチを「ON」にすると、識別番号（設定温度）を1.5秒デジタル表示した後、湯槽内に給水が始まります。

デジタル表示（前面）
…1.5秒間「02」と表示します。
デジタル表示（前面）
…「PP」と表示します。
ランプ表示（背面）
…安全水位ランプが点滅します。

1.5秒後…
※識別番号「02」の沸上げ設定温度は「81℃」となります。

4 運転開始の確認。

運転を開始します。

デジタル表示（前面）
…「Lo」と表示します。
ランプ表示（背面）
…「安全水位ランプ」が点灯に変わり、湯沸中ランプが点灯します。

72℃未満
注意
10分経過しても安全水位ランプが点灯しないときは、P.16をご覧ください。

5 適温表示の確認。

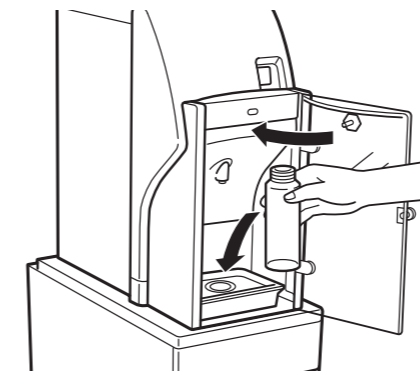
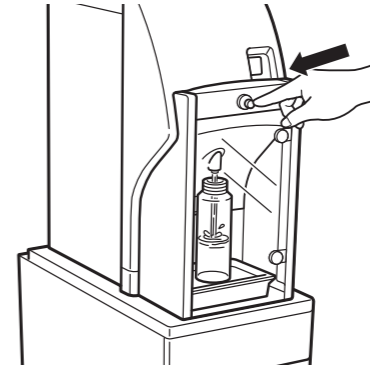
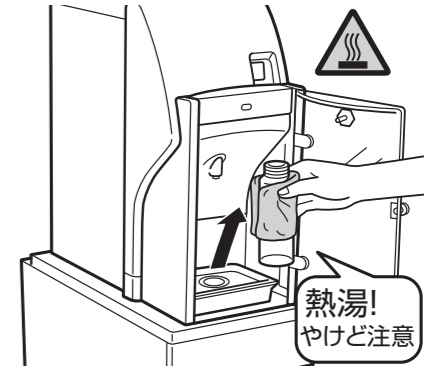
湯が72℃以上になります。

デジタル表示（前面）
… 湯温を表示します。
ランプ表示（背面）
… 適温ランプが点灯します。

72℃の場合
ご使用方法

警告
●熱湯が出るため、やけどに注意してください。
●温水器本体の引き倒しなどに注意してください。

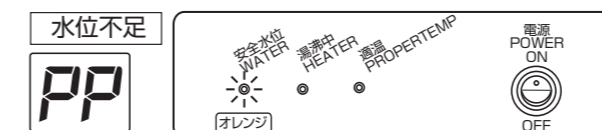
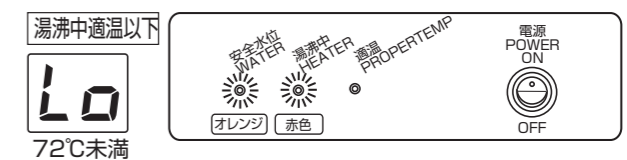
注意
●温度表示は、72℃になるまでは、「Lo」と表示されます。
●72℃～81℃の温度が表示されている状態でご使用ください。
●70℃以上で調乳のこと（2007年WHO、FAO、厚生労働省告示対応）
●必ずトレイ、水切りフタを設置してご使用ください。
●トレイにミルクを捨てないでください。
●ご使用後は扉を閉めてください。

1 トレイの赤い◎の中心に哺乳瓶を置き、扉を閉める。

2 給湯ボタンを押し、お湯を注ぐ。

3 タオルなど当て布を使用して哺乳瓶を取り出す。

運転状態の表示

※ランプ表示（背面）の⁘は点滅、⁘は点灯を示しています。

水位不足

※水を継ぎ足している状態です。

湯沸中適温以下

72℃未満
※お湯を出すと、一時的にこの表示になることがあります。
その場合、温度表示に切り替わるまで数分間おまちください。

湯沸中適温

※72℃～81℃の範囲で温度を表示します。
温度表示中は調乳適温です。湯は81℃まで沸かしあげます。

沸上げ

⁘は点滅、⁘は点灯を示しています。

※72℃～81℃の範囲で温度を表示します。
※水温が低い場合は、沸くまでに時間がかかることがあります。

調乳適温は、70℃以上です

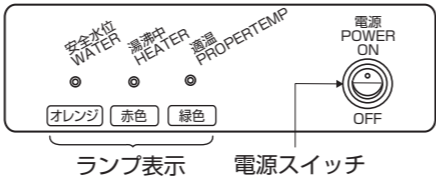
平成19年6月6日、社団法人日本乳業協会より、「『乳児用調製粉乳の安全な調乳、保存及び取り扱いに関するガイドライン（WHO世界保健機関/FAO国連食糧農業機関共同制作）』を基本とする調乳温度に関する表示の自主的ガイドライン」より。

故障と思われる前に

●故障かな？と思っても、実際には製品の故障ではないことがありますので、修理を依頼される前に次の表を参考にしてチェックしてください。

■デジタル表示・ランプ表示一覧

温水器は各種の故障診断機能を備えています。
故障や問題が発生したときは前面のデジタル表示と背面のランプ表示でエラーを表示します。エラー（下表のE0～E6）が表示されたときは、エラー表示を確認後、まず背面の電源スイッチを切ってください。

ランプ表示　電源スイッチ

表示の状況				内　容	点検事項・原因・処理の方法
デジタル表示（前面）	ランプ表示（背面）				
	橙	赤	緑		
72～81	○	－	○	温度表示	通常表示です。
02	－	－	－	初期動作時の通常一時表示	通常表示です。初期立ち上げ時のみ一時的に表示されます。
PP	◎	－	－	初期給水（安全水位までの給水）	安全水位まで給水されれば通常表示になります。
Lo	○	○	－	湯温が72℃以下	72℃以上に湧き上がれば通常表示になります。
E0	○	◎	－	過昇温検出（設定温度より温度が高くなった）	ヒーター用リレーの異常 →電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E1	◎	－	◎	給水異常	湯槽内下部水位センサーにスケールが付着している可能性があります。 →電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E2	○	－	◎	温度センサー異常	センサー交換か接続コネクタ交換が必要です。 →電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E3	○	－	－	沸かし上げ不可	ヒーター異常 →電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E4＋温度	－	◎	◎	オーバーフロー	上部センサーにスケールが付着している可能性があります。もしくは自動給水弁の故障です。 →機器への給水元栓を締め、電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E5	◎	◎	◎	温度測定エラー	マイコンの温度読み込み異常 →１度電源を切り、再度電源を入れると直ります。直らない場合は、電源を切り、サービスセンターへご相談ください。
E6	◎	◎	－	給水異常（断水）	湯沸器に水が供給されていません →運転停止後、給水されたのを確認した後、運転を再開させてください。

◎ 点滅　○ 点灯　－ 消灯

その他の不具合

ご注意）貯湯式のため、運転開始から沸かし上げには約50分程度の時間がかかります。また、出湯能力以上のお湯は一度に供給できません。

状　況	点検事項	処理方法
運転スイッチを押してもランプ表示（裏面）やデジタル表示（表面）が点灯しない。	① ブレーカーがOFFになっていませんか？ ② 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？ ③ 電圧は正常ですか？	① ブレーカーをONにしてください。 ② プラグを確実に差し込んでください。 ③ 電圧を誤るとコントローラーが破壊され、一切表示されなくなります。 →サービスセンターへご相談ください。
湯の出方が悪い。	①止水栓は全開になっていますか？ ②給湯口にスケールが付着していませんか？	①全開にしないと十分な流量は得られません。 ②スケールを割り箸などで除去してください。
給水時、湯沸器本体及び配管に振動音がする。	給水管に長いフレキ管を使用したり、配管固定をしていないことはありませんか？	配管を固定していないと「ウォーターハンマー現象」が起き、振動音が出ることがありますので固定してください。
湯が臭い。 湯が汚れている。	新設後で槽内に配管時の油や接着剤が残っていませんか？	新設時は配管工事の際の油などが流入することがありますので、給湯ボタンを押し続け、湯槽内の湯を数回入れ替えてください。
漏水している。	①オーバーフロー管からですか？ ②配管接続部からですか？	① 上表「デジタル表示・ランプ表示」のE4をご参照ください。 ② 締め直してください。

Combi

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ（www.combiwith.co.jp）からもダウンロード（PDF）できます。ご活用の程、お願いいたします。

●製品に関するお問い合わせ

販売元　コンビウィズ株式会社

本社 / 東京営業所　〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7
TEL.03-5828-7631 FAX.03-5828-7630
大阪営業所　〒540-0026　大阪市中央区内本町2-4-16
TEL.06-6942-0384 FAX.06-6942-0398

●修理・点検に関するお問合せ／コンビウィズ㈱ サービスセンター
［受付時間］祝祭日を除く、月~金 10:00 ～ 17:00
TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630

製造元　コンビ株式会社
〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7

浄水器・温水器付シンク（以下『シンク』）への接続のため、☆印の配管部品・配電部品をご用意ください。

特記事項

1．温水器本体、扉付きカバー、専用台の３点構成です。
2．浄水器、給排水口から先の配管、トラップは製品に付属しません。
3．☆印はお客様ご手配願います。
4．水道法の水質基準に適合した上水道以外は使わないで下さい。
5．赤錆などの異物を多く含む水が給水されると、フィルタ ーの目詰まりが発生します。
水質によりフィルタ ー交換時期が早まったり、浄水器を通しても水が変質する場合がありますのであらかじめご了承ください。

～ 設置上の注意（周囲との位置関係） ～

注1．温水器の背面は壁面から50mm以上離して設置してください。（配管、電源コード、放熱のため）
注2．専用台の正面から400mmに障害物なきこと。（正面扉の開閉スペース）
注3．温水器機の周囲300mmには、乳児機器（ベビーシート、ベビーキープ等）の設置をしないこと。（水はね等防止のため）
注4．当社『浄水器・温水器付シンク』に左右両側に横付け設置可能です。ただし、専用台奥行寸法は異なりますのでご注意ください。
注5．当社『浄水器・温水器付シンク』に左右両側に横付け設置する場合は、双方のキャビネット側板にホールソーで開口し、給排水を分岐することもできます。（分岐、給排水管等はご用意していません。お客様にてご手配ください。）
注6．排水フレキ管（オーバーフロー管）は蒸気抜き管を兼ねています。接続管を横引きする場合には必ず下り勾配とし、先端を大気に開放し間接排水としてください。排水フレキ管の先端には必ず袋ナット、エルボを取り付けてください。
注7．給水フレキ管を必ず壁に固定してください。固定しないと「ウォータ ーハンマー現象」が起きる場合があります。
注8．電源一次側に必ず漏電ブレーカ（感度電流30mA以下，動作時間0．1秒）を取り付けてください。
注9．転倒防止のため、必ず、床面または壁面へ固定してください。（壁面固定の際は、12mm厚以上のコンパネもしくは補強材を取り付けること。）

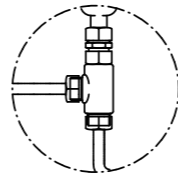
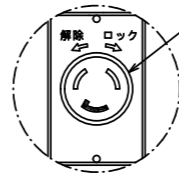
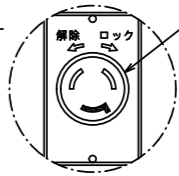
付属品一覧（ア～ウ）

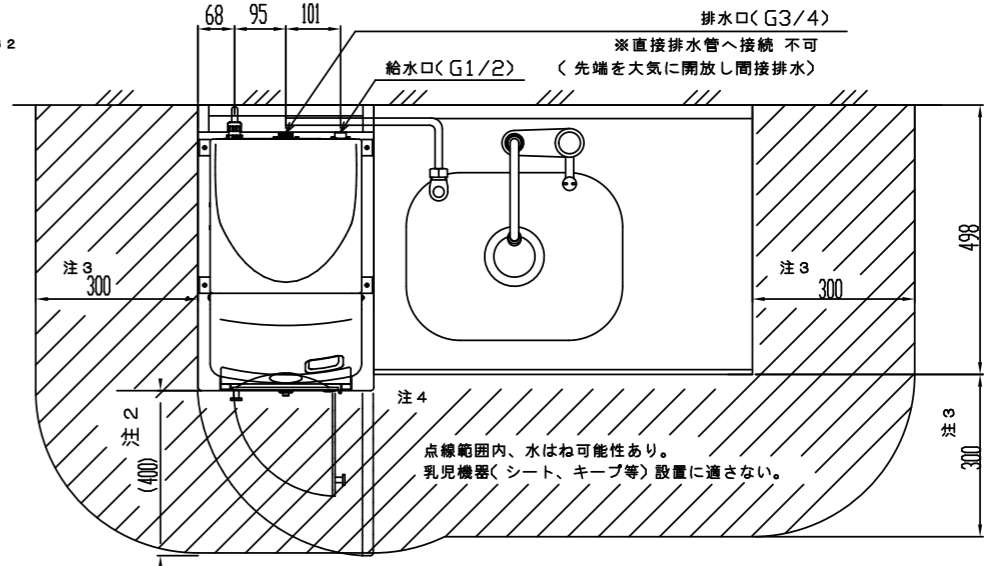
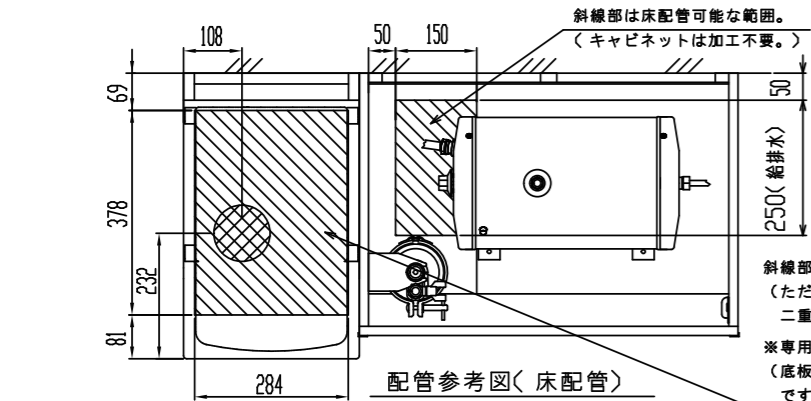
No.	部品名称	付属品	数
ア	既設シンク固定ボルト	M8×L60ボルト…4本 φ22平ワッシャー（M8用）…8枚 スプリングワッシャー（M8用）…4枚 M8ナット…4個	1
イ	床面固定金具	L金具…4個 M8×25トラスねじ…4本 平ワッシャー（M8用）…4枚	1
ウ	壁面固定金具	呼4×50トラスタ ッピンねじ…4本	1

加工一覧（☆a～☆d）

No.	用途別	加工内容
a	既設シンク固定ボルト穴	φ9（双方キャビネット加工）×4ヶ所
b	給水管貫通穴	φ30～φ50（双方キャビネット加工）×1ヶ所
c	排水管貫通穴	φ30～φ50（双方キャビネット加工）×1ヶ所
d	専用台固定ねじ穴	φ2（壁固定の場合）×4ヶ所

お客様手配部品一覧（☆1～☆15）

No.	部品名称	メーカ・型 番（推奨）	数
1	アフレナシPトラップ	三栄水栓 H75B-25	1
2	差込エルボ	三栄水栓 H80-4-32	1
3	塩ビパイプ（呼び径25）	積水化学工業 エスロンパイプ（HT）	2
4	塩ビエルボ（呼び径25）	積水化学工業 エスロンパイプ（HT継手）	1
5	塩ビパイプ（呼び径25）	積水化学工業 エスロンパイプ（VU）	1
6	塩ビチーズ（呼び径40×25）	積水化学工業 エスロンパイプ（VU継手）	1
7	塩ビパイプ（呼び径40）	積水化学工業 エスロンパイプ（VU）	4
8	塩ビエルボ（呼び径40）	積水化学工業 エスロンパイプ（VU継手）	2
9	流し用アダプタ	三栄水栓 H62-820（呼び径40）	1
10	引掛コンセント	B部詳細 参照	1
11	片ナットフレキチーズ	A部詳細 参照	1
12	排水フレキ管（L=500）	ジェイトップユーコー Y106B-20×500（呼び径20エルボ）	1
13	浄水フレキ管（L=1000）	ジェイトップユーコー Y106B-13×1000	1
14	異径差込エルボ	カクダイ 4683-25×32	1
15	床固定ボルト	図面内詳細参照	1

注）1．本図は左横付け用を示し、右横付け用は左右勝手違いとする。

☆印の配管部品・配電部品をご用意ください。

斜線部は床配管可能な範囲。
※専用台は加工不要。
(底板は取り外して穴あけ加工可能ですが、必ず元に戻してください。)

排水管:VU40(呼び径40)

69
378
81
20.5
284
20.5
400
230
284

配管参考図

斜線部は壁配管、配電可能な範囲。
(背板点検口は取り外し可能です。)

給水管:呼び径15

特記事項

1. 温水器本体、扉付きカバー、専用台の3点構成です。
2. 浄水器、排水口から先の配管、トラップは製品に付属しません。
3. ☆印はお客様ご手配願います。
4. 水道法の水質基準に適合した上水道以外は使わないで下さい。
5. 赤錆などの異物を多く含む水が給水されると、フィルタ ーの目詰まりが発生します。
   水質によりフィルタ ー交換時期が早まったり、浄水器を通しても水が変質する場合がありますのであらかじめご了承ください。

～ 設置上の注意(周囲との位置関係) ～

注1. 温水器の背面は壁面から50mm以上離して、設置してください。(配管、電源コード、放熱のため)

注2. 専用台の正面から400mmに障害物なきこと。(正面扉の開閉スペース)

注3. 温水器機の周囲300mmには、乳児機器(ベビーシート、ベビーキープ等)の設置をしないこと。(水はね等防止のため)

注4. 排水フレキ管(オーバーフロー管)は蒸気抜き管を兼ねています。接続管を横引きする場合には必ず下り勾配とし、先端を大気に開放し間接排水としてください。排水フレキ管の先端には必ず袋ナット、エルボを取り付けてください。

注5. 転倒防止のため、必ず、床面または壁面へ固定してください。(壁面固定の際は、12mm厚以上のコンパネもしくは補強材を取り付けること。)

注6. 給水フレキ管を必ず壁に固定してください。固定しないと「ウォータ ーハンマー現象」が起きる場合があります。

注7. 電源一次側に必ず漏電ブレーカ(感度電流30mA以下,動作時間0.1秒)を取り付けてください。

お客様手配部品一覧(☆1～☆10)

No.	部品名称	メーカ・型 番(推奨)	数
1	アフレナシPトラップ	三栄水栓 H75B-25	1
2	異径差込エルボ	カクダイ 4683-25×32	1
3	塩ビパイプ(呼び径25)	積水化学工業 エスロンパイプ(HT)	1
4	防臭ゴム	ジェイトップユーコー Y0416-1	1
5	アングル止水栓	三栄水栓 V22A-X2-13	1
6	排水フレキ管(必要長)	ジェイトップユーコー Y106B-20(呼び径20エルボ)	1
7	洗面器	ー	1
8	引掛コンセント	A部 詳細参照	1
9	給水フレキ管(L=1000)	ジェイトップユーコー Y106B-13×1000	1
10	床固定ボルト	図面内詳細参照	1

加工一覧(☆a)

No.	用途別	加工内容
a	専用台固定ねじ穴	φ2(壁固定の場合)×4ヶ所

付属品一覧(ア～エ)

No.	部品名称	付属品	数
ア	床面固定金具	L金具…4個 M8×25トラスねじ…4本 平ワッシャー(M8用)…4枚	1
イ	壁面固定金具	呼4×50トラスタ ッピンねじ…4本	1
ウ	浄水フレキ管	呼び径13(G1/2) L=1000	1
エ	浄水器	浄水器・専用固定金具	1

専用台の固定は床面もしくは壁面のどちらかの方法により行なってください。

☆印の配管部品・配電部品をご用意ください。
図はCH22-3です。CH22-4は専用台がCH22-3の左右勝手違いとなりシンクと温水器の位置が逆になります。

特記事項

1. 温水器本体、扉付きカバー、シンク台の3点構成です。
2. 浄水器、給排水口から先の配管、トラップは製品に付属しません。
3. ☆印はお客様ご手配願います。
4. 水道法の水質基準に適合した上水道以外は使わないで下さい。
5. 赤錆などの異物を多く含む水が給水されると、フィルタ ーの目詰まりが発生します。
   水質によりフィルタ ー交換時期が早まったり、
   浄水器を通しても水が変質する場合がありますのであらかじめ
   ご了承ください。

～ 設置上の注意(周囲との位置関係) ～

注1. 扉付きカバーの正面から400mmに障害物なきこと。
(正面扉の開閉スペース)
注2. 温水器機の周囲300mmには、乳児機器(ベビーシート、ベビーキープ等)の設置をしないこと。(水はね等防止のため)
注3. 給水フレキ管を必ず壁に固定してください。固定しないと「ウォータ ーハンマー現象」が起きる場合があります。
注4. 電源一次側に必ず漏電ブレーカ(感度電流30mA以下, 動作時間0.1秒)を取り付けてください。
注5. 排水フレキ管(オーバーフロー管)は必ず勾配を付けてください。
注6. 転倒防止のため、必ず、床面または壁面へ固定してください。
(壁面固定の際は、12mm厚以上のコンパネもしくは補強材を取り付けること。)

お客様手配部品一覧(☆1～☆8)

No.	部品名称	メーカ・型 番(推奨)	数
1	アフレナシSトラップ	三栄水栓 H74B-25	1
2	異径差込エルボ	カクダイ 4683-25×32	1
3	塩ビパイプ(呼び径25)	積水化学工業 エスロンパイプ(HT)	1
4	塩ビチーズ(呼び径40×25)	積水化学工業 エスロンパイプ(HT継手)	1
5	塩ビパイプ(呼び径40)	積水化学工業 エスロンパイプ(VU)	1
6	ストレート止水栓	三栄水栓 V21JS-X2-13×300	1
7	片ナットフレキチーズ13	ジェイトップユーコー Y6462	1
8	床固定用ボルト	図面内詳細参照	1

付属品一覧(ア～ク)

No.	部品名称	付属品	数
ア	フレキ管(1)	呼び径13(G1/2) L=1000	2
イ	浄水器	浄水器・専用固定金具	1
ウ	水栓金具	三栄水栓 JA575-13	1
エ	オーバーフロー用金具	三栄水栓 V46-60X(αs)	1
オ	異型 ジョイント	三栄水栓 T25-5-20×13	1
カ	フレキ管(2)	呼び径13(G1/2) L=700	2
キ	エルボ	三栄水栓 T204-13	1
ク	床面固定金具	L金具…4個 M8×25トラスねじ…4本 平ワッシャー(M8用)…4枚	1